

## 1 部門目標

重症患者の早期離床を図り、入院前の生活に戻る。

## 2 業務体制・スタッフ

ハイケアユニット入院医療管理料1を算定した14床の病棟であり、血管造影室を兼務している。

看護職員は24名であり、その内訳は看護師長1名、主任看護師2名、看護師20名、看護補助員1名である。

## 3 業務実績

平成28年度の1日平均患者数は4.2人、病床稼働率は29.9%、平均在院日数は7.2日であった。前年度に比べ病床稼働率は-8.5%であり低迷している。

業務内容は、血管造影室を完全移行し、平日日中の救急外来も兼務を開始した。同時に、病棟内で外来硝子体注射も開始した。

## 4 1年間の総括

ABCDEバンドルの実践に向け、浅い鎮静や各種スケールの活用の標準化を目指した。一部利用率が低下するスケールもあったが、客観的な指標を用いた評価は行えるようになった。

また、安全な看護の提供では、気管内チューブの計画外抜去が2件発生し、ほかのチューブ類に関連したインシデントも増加している。せん妄へのアプローチや継続的なせん妄評価による早期発見など、浅い鎮静のもとでも患者の安全を守るための看護実践が必要である。

## 5 今後の目標

多職種を含めたカンファレンスを継続し、情報共有することで同じ問題意識を持ちながら看護実践をすすめていきたい。また、患者・家族の意思決定支援に関われるよう看護師のコミュニケーションスキルの向上や接遇を見直していく。ICへの同席や緊急検査・手術時のオリエンテーションなど患者・家族への説明を充実させ、患者・家族の満足へつなげていきたい。